



小・中学生地区別リレー 大勢の力強い声援を受け、勝利に向かってダッシュ!!
〔町民体育祭 10/6〕

湘南 にのみや 議会 じょうり

平成25年
9月定例会
9/6～9/30

- ◆24年度決算に対する総括質疑に4議員…………… 2～4 P
- ◆決算審査と討論…………… 5～7 P
- ◆24年度予算審査意見その後追跡…………… 8 P
- ◆一般質問で4議員が登壇…………… 10～12 P
- ◆「もっと知りたい蘇峰堂の魅力」…………… 14 P

12月定例会のお知らせ

12月6日（金）から開会の予定
本会議・委員会の傍聴できますーお気軽にどうぞー

平成24年度

決算について4名の議員が問う

「3つの重点プロジェクト」「公共施設の維持・更新」
「子育て支援」「防災」など町政を斬る！

町が掲げた3つのプロジェクトの事業について問う

添田孝司議員



平成24年度は総合長期プランの最終年度。総仕上げとして重点施策の他に「町の基盤再生」、「誰もが安心して暮らせる町」、「町の体制づくり」の3つのプロジェクトが各事業で推進された。

オリーブ栽培奨励

問 加工販売に向け町全体での戦略が必要では。

町長 生産者、加工業者、販売業者等が参画した組織の立上げを考えている。

子育て支援

問 育児・発達支援事業の成果と国が進める子ども・子育て支援制度の下

も・子育て支援制度下で町の支援制度の今後は。町長 臨床心理士による幼稚園、保育園への巡回相談を開始、子ども育成課を新設し相談窓口を集約した。国の動向を注視し、「子ども・子育て支援事業」を策定していく。

局部的豪雨災害リスク

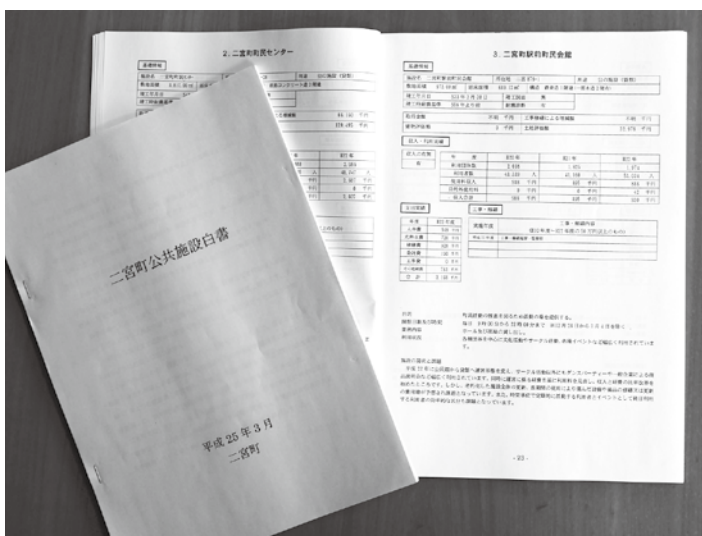
問 防災マップに県知事が指定した急傾斜地崩壊危険区域があるが、町独自の調査や予防対策が必要ではないか。防災基金の活用もできるのでは。

町長 予防対策は急傾斜地法に基づき県が事業主体となる。町独自で対応せざるを得ない予防対策等には基金を活用する。

公共施設白書と財務諸表

問 公共施設再配置計画作成に向け、白書の更なる充実と財務諸表を分かりやすくすべきと思うが。

町長 更に人口や財政状況推移、公共施設の更新コストと財政見通し及び、施設の利用状況の収集と分析が必要だ。財務諸表は工夫と改善に努める。



公共施設の老朽化は顕在化している。
更新はまったなしの課題だ。

行政評価と行政改革

問 施策と事業の最適化、資産の適正化、業務効率化等、また、財政基盤強化に継続的な行政評価と行政改革が重要だ。町長 事業の再編・整理、廃止・統合及び財政基盤強化には一定の成果が出た。町民の理解を得ながら更に課題に取り組む。

町基盤再生・体制づくり プロジェクト事業について問う

脇 正文議員



基盤再生プロジェクト

問 北口通り商店街活性化策が、花と緑の景観形成になった経緯を伺う。
また、吾妻山公園や（仮

称）風致公園保全整備について伺う。

町長 北口通り商店街の

活性化策として、にぎわいイベント企画に着手。花をテーマとした商店街の活性化に取り組んだ。まずは花と緑、生花を植栽し、通りの環境をつくり直そうということであり始めた。公園整備は、良好な自然環境の保全を図りながら、誰もが安心して利用できる公園を目

指した。

財政確保プロジェクト

問 財源確保として、町

が保有する不動産を売却整理したことについて考えを伺う。下水道整備事業で下水道が通らない民家に合併浄化槽導入を斡旋する計画があるか。
町長 不動産売却は、全プロジェクトを推進し得る財源確保のために必要不可欠であったことと、



これで景観がかわるのか？
ハンギングバスケット（北口通り商店街）

課題となっていた未利用地の整理を兼ねて実施した。残りの町有地については、今後、土地調整委員会等で利用目的や財源などについて議論し、方向性を検討していきたい。

状況と市街化区域の整備状況を見ながら、現計画の下水道で整備を行うか、合併浄化槽で行うかの整備手法を研究し、市街化区域整備完了予定の平成31年度までに最上の汚水処理方法を決定したい。

源確保として、団体施設使用料減免措置を廃止した。この廃止に対して、団体等が一番言いたいの

24年度決算の財政は

安全か危機的状況なのか

二見泰弘議員



町長 町債残高は借入額と返済額の拮抗から減少してないが、財政健全化法に基づく各種指標は健全である。経常収支比率や財政力指数は悪化しており注意が必要。事業の見直しや経費を抑制する。

税滞納抑制に条例制定を

問 24年滞納額1億3千

153万6千円の滞納額があり滞納抑制にも条例制定が必要と思う。小田原市では、「小田原市市税の滞納に対する特別措

道路占用料の見直しは

問 平成13年施行以来一

度も改定されていない。道路占用料の見直しをする時期と思う。

町長 占用物件によって、引上げが適正か、引下（4面につづく）

げが適正か、検討する余地があるので、地価の動向を踏まえ、適正な占用料の見直しについて検討したい。

オリーブ栽培の取り組みは

問 片手間のオリーブ育成には限界があり、今後の製造・販売にも専門的知識が必要になり、専従のセクションや職員を置くべき。また企業など民



オリーブ専従の班を設けて推進を！（二宮駅北口）

間の参入を促すため特別振興特区を設置すべき。
町長 今後も現状の組織体制でオリーブ普及を特産物普及奨励事業の中に位置づけ、取り組んでいきたい。オリーブの振興を進める上で、有利な特定事業への取り組みとして、特区認定の必要性があれば、小豆島とは違うオリーブ振興特区を目指していく。

広い視野で将来見据え 「存在感ある町」を目指せ

根岸ゆき子議員



スローガンの目指すもの

問 坂本町政で「未来に夢が持てる足腰の強い存在感ある町」というスローガンを掲げて前総合計画にもローリング方式を採用しながら施策を実施してきた。24年度は実をあげたものもある。このスローガンを掲げることと何を指した町づくりにということになるか改めて伺う。

町長 住んでいる人だけでなく、町外の人からも良い町と思える町、大きな町とも対等に物が言える町、皆が誇りを持つて

住み、本当に活性化して笑顔で毎日が暮らせる町を作るとのことだ。

これからの福祉について

問 少子高齢化が進み、世代構成にアンバランスが生じる。町づくりではハードの施策を進めてきた一方で24年度は扶助費削減にも切り込んだ年である。福祉に関する特別会計と一般会計のバランス、助け合い施策でできていること、整理が必要なこと、課題と捉えていること等々、町民に発信をして今後の福祉に対する町の考えを理解してもらう必要があると思うがいかがか。

町長 これから福祉という基礎のくくりの中で選別せざるを得ないときに、残す所、やめる所は出てくる。我慢してもらいたいということだ。

公共施設と土地活用

問 公共施設の再配置計画を作るが、その前段に全体構想を議論してはどうか。東大跡地も含めて町民サービスに寄与する

必要がある。統一的な視点で町の考えを持つことで町民合意を得やすくなると考えるがいかがか。
町長 土地の確保にはその都度最善の方法をとってきた。負の遺産もありそれを解決しながら大きな土地活用で町の活性化に結びつけるしかないと思う。活用には議員提案も望む。

様々な生きがいを支える福祉予算。施策全般にわたる深い議論を。



シルバー人材センターから派遣



毎年盛大な老連芸能大会

平成24年度 決算審査

公共施設管理やオリーブ事業の 方向性に議論集中

子育て支援事業の継続・充実を評価

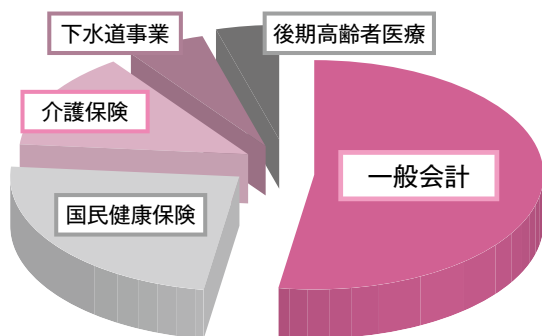
(単位は円)

会計名	歳入	歳出
一般会計	79億7,178万	76億9,887万
特別会計		
国民健康保険	37億3,842万	35億1,745万
介護保険	20億5,094万	20億 677万
下水道事業	8億3,528万	8億1,616万
後期高齢者医療	6億4,695万	6億2,154万

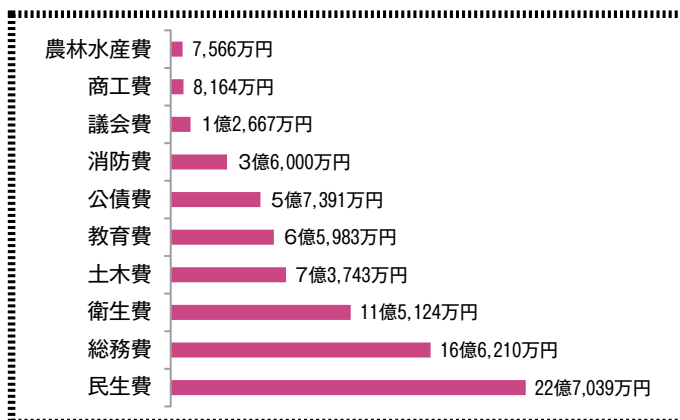
◆委員会結果
一般会計、特別会計すべてに6名の委員全員が賛成をし、根岸議員と桑原議員が賛成討論を行った。

決算審査特別委員会の構成は次のとおり
◎委員長 小笠原陶子
○副委員長 添田孝司
▽委員 杉崎俊雄
桑原英俊 脇正文
根岸ゆき子 二見泰弘

平成25年9月20日から延べ4日間にわたり、決算審査特別委員会を開催し、慎重審議を行った。



歳入79億7,178万円に対して
歳出76億9,887万円の使いみち ▶▶▶



※詳細は広報10月号(4~5p)をご覧ください

ユニバーサルデザインで快適に
吾妻山中里トイレ
(旧小動物公園)



審査意見

各課の審査ごとに、委員から多くの要望が出され、それを精査し審査意見として町に報告する。町は今後の事業執行にあたり検討事項とし、努力することになる。

① 各課の審査ごとに、委員から多くの要望が出され、それを精査し審査意見として町に報告する。町は今後の事業執行にあたり検討事項とし、努力することになる。

② 児童保育や一時預かり等については利用実態を把握し、利用者の利便性に合った体制作りを進められたい。

③ オリーブ加工販売には総合的な組織と計画性が必要であり、戦略的に進められたい。

④ 町民に広く活用されるために、協働まちづくり事業交付金制度の見直しを図られたい。

⑤ 障がい者の方に、スポーツの良さや楽しさを知ってもらうための環境づくりに努められたい。

⑥ 若い世代への定住促進策として、交通アクセスの良さ、自然環境など二宮町の利

⑦ 文化財保護の観点から、町の有形・無形の財産が保存されるように努力されたい。

論 討 算 決

本会議にて賛否両論

異例の決算審査委員長

反対討論！

(発言順に掲載)

反対討論 浅賀一伸議員

町民福祉を大幅に削減した 年度であり、反対する

平成24年度は様々な条例改正がなされ、町民福祉削減が見られた。

小児医療費助成への所得制限設置は親の所得により、子どもに差別を持ち込む。障がい児者への手当や医療費助成廃止も冷たい。在宅介護奨励金を増額したが、実際は入所を望む方が多く、町の考えと乖離がある。黒字

決算で積立金を大幅に増やしたが、町民福祉を削らずに済んだのでは。東大果樹園跡地の実際の利用はまだ先のため、検討も困難と思うが頑張っている。国保会計は値下げ維持を評価し賛成。介護保険、下水道事業は町民負担増のため反対。後期高齢者医療は制度そのものを認めず反対。

賛成討論 近藤行宏議員

限られた財源の中、将来を見据えた上での執行と評価

一般会計の歳入については、評価替えの影響により固定資産税が大きく減少したにも係らず、個人町民税が若干の増へと転じたこと、徴収率の向上も寄与したことから町

税全体で前年比0・7%減に留めることが出来た。未利用地の売却、使用料の見直し、地方債の機動的活用により財源を捻出されたことも評価する。歳出については、消防

費、教育費の減少が顕著だが、東大果樹園跡地購入、次期環境事業センターへ建設負担金の大型投資事業により結果として前年度を上回る決算額となった。人件費、物件費などの消費的経費の削減努力が認められ、行政改革の成果が表れてきている。

4特別会計についても適正に会計運営がなされたと判断する。

反対討論 小笠原陶子議員

東大果樹園跡地購入の影響 懸念。図書費削減に反対

東大果樹園跡地4億5千万円の影響で24年度にやるべき事業が先送りになった。二宮小学校は23年度に大規模改修工事の実施計画が策定されたが、結果24年度中には実施できず25年度に実施された。消防三分団詰所も同様だ。次に、図書館費だが、平成12年度から減る一方

の図書資料整備費には失望する。平成18年までは、2千万円台だったが、24年度は、758万2千217円に落ちた。一方、ふたみ記念館24年度入場者数は、4千161人。1月から2月の菜の花ウォッチングの無料入館で稼いだ数字だ。それ以外の閑散とした状況は目に



東京大学二宮果樹園跡地7月の草刈りサポーターに73名が参加

平成24年度 5会計への

議 会

余る。ふたみ記念館の予算を削減し、図書館の費用に充当すべきと提案する。

他の4特別会計は賛成である。

賛成討論 添田孝司議員

経費削減の徹底とメリハリのある予算執行を評価

投資的経費は、東大跡地購入費を除けば対前年比大幅減にも拘らず北口駅前が整備され、また、安全確保に向け道路拡幅や橋りょう改修事業を行った。消費的経費においては、人件費、物件費、維持補修費、扶助費及び補助費等全てが対前年比減となった。扶助費は国施策「子どものため手当」の減少が主要因だったが、その他の各経費減は、

町職員がコスト削減意識を持ってなされた結果であり評価できる。一方、オリーブ栽培奨励、育児支援、地域防災計画の改訂等新たな事業を行い、住民福祉向上や活性化を目指した事業展開となり、かつ行政評価で事業の優先順位をつけ、メリハリのある予算執行であったので、5会計すべてに賛成とする。



一色打越地区の
オリーブ試験圃場

議案・陳情に対する賛否

	小笠原陶子	西山宗一	杉崎俊雄	浅賀一伸	神保順子	桑原英俊	脇正文	添田孝司	根岸ゆき子	近藤行宏	二見泰弘	三橋智子	池田宏	結果
町長提出議案名（左は議案番号）														
41 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
42 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
43 二宮町火災予防条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
44 二宮町国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
45 二宮町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
46 平成25年度二宮町一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
47 平成25年度二宮町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
48 平成25年度二宮町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
49 平成25年度二宮町介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
50 平成25年度二宮町下水道事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
51 平成24年度二宮町一般会計歳入歳出決算の認定について	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
52 平成24年度二宮町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
53 平成24年度二宮町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
54 平成24年度二宮町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
55 平成24年度二宮町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳情名（左は陳情番号）														
4 神奈川県に対し公契約条例を制定するよう意見書の提出を求める陳情	○	△	△	○	○	△	△	△	○	△	△	△	△	趣旨採択

※議案番号41～55について、○は議案に対する賛成、●は反対したことを意味しています。
 ※陳情については、○は採択、△は趣旨採択、●が不採択に賛成したことを意味します。
 ※池田 宏議長を除く12名の議員の賛否状況です。（議員定数14名のうち、1名欠員）

男女共同参画の観点から、地域防災会議など、各委員会へ女性の登用を積極的に進められたい

「二宮町男女共同参画プラン」にのっとり啓発をすすめ、平成24年度の女性委員の構成割合は、23・2%となり前年度から24ポイント増加した。女性委員の構成割合を30%を目標としているので、今後も普及啓発に努めていく。

公共施設への太陽光パネル設置の推進とともに、経費節減のため、PPS電力への切替えを検討されたい

再生可能エネルギー導入基金（グリーンニューデール基金）を活用し、平成27年に二宮小学校に太陽光パネルを設置することとした。

町民生活に身近な児童公園、児童遊園地は老朽化が進んでいるため、計画的にリニューアルをされたい

児童遊園地等については、老朽化や緊急性の高いものや、地区要望を基に優先順位を決めて修繕を実施していく。



子どもの飛び出しを防ぐ柵を設置（中里地区）

危機管理くらし安全班となるにあたっては、危機管理体制の一層の強化を図られたい

地域防災計画の改訂、防災マップの全戸配布。職員の危機管理に対する意識改革の推進をした。職員の体制については、未だ課題がある。

追跡

平成24年度の予算審査意見に対し

いつまでも生き生きと!!
(若返り塾)



要介護者を増やさないために、二次予防事業への参加を促進されたい

二次予防事業対象者把握事業に看護師を雇い、訪問や電話勧奨で対象者への事業参加を促した。24年度の参加者は37名であったが、継続的に効果は出ていると考えられる。

町職員、非常勤、臨時雇用員の福利厚生などサポート体制を充実されたい

職員の互助会への補助は予算通りの執行。非常勤、臨時雇用員については、メンタル面、健康管理の受け入れ態勢を整えるための研修に参加、相談体制の充実を図る。

保健予防業務を保健センターに集約することで、がん検診など各種検診をより充実されたい

クーポン事業の検診項目の増加や広報等の啓発により、効果を上げ充実してきている。

教育委員会と福祉課で連携をとり、放課後子ども対策の拡充を図られたい

平成20年より暫定的に「放課後子どもようゆうスペース」を実施している。平成24年度は、一昨年

積立金の増額が目立った25年度補正予算 下水道の接続10件増加等 全員賛成で可決

会 計		補 正 額	主 な 内 容		総 額
一般会計		8,009万円	歳入	地方交付税/4,364万円 国庫支出金/3,255万円 県支出金/1,019万円 繰越金/▲2,267万円 ほか	77億9,924万円
			歳出	財政調整基金積立金/5,000万円 公共施設整備基金積立金/1,000万円 災害対策基金積立金/1,000万円 予備費/849万円 ほか	
特別会計	国民健康保険	1 億8,596万円	歳入	繰越金/ 1 億8,596万円	36億5,653万円
			歳出	国民健康保険財政調整基金積立金/ 1 億円 国庫支出金等返還金/6,061万円 ほか	
	後期高齢者医療	2,390万円	歳入	繰越金/2,390万円	6 億8,052万円
			歳出	予備費/2,329万円 ほか	
	介護保険	4,395万円	歳入	繰越金/4,317万円 ほか	21億6,842万円
			歳出	介護給付費準備基金積立金/3,398万円 一般会計繰出金/877万円 ほか	
	下水道事業	912万円	歳入	繰越金/412万円 町債/500万円	9 億4,660万円
			歳出	山西汚水幹線整備工事に伴う JR軌道監視業務等委託料/600万円※参照 宅内マス設置等工事/200万円 ほか	



※ JRの地下推進場所
(越地・松浦地下道)

問 JR軌道監視業務等委託料600万円の内容は、
答 JRの下を18・7メートル推進していく工事となるので、JRと協議した結果、その条件として工事中線路に支障があるか確認することとなった。工事は二日間、24時間かけて推進していくのでその間の監視業務と、工事前後計5回の線路の状況変化等を計測確認する内容。

問 JRとの協議経過は。
答 前年度に近接協議として当初は窓口をJRの平塚保線技術センターにしていたが最終的には横浜技術センターが技術的な承認条件を出すことになった。監視業務等は専門技術が必要であり、JRの指定業者に委託する。

JR線路下の 下水道工事を質疑

条例の一部を改正する条例

火災予防条例

消防法施行令が改正され住宅用火災警報器が検定対象機械器具になる。

平成26年4月1日から施行
全員賛成で可決

国民健康保険税条例

地方税法の改正に伴う改正。金融所得課税の一体化を進めるための金融商品の株の他、公社債や公社債投資の利子や配当にも損益通算できるようにした。

反対討論として「株の配当の他、公社債や公社債投資の利子や配当も譲渡損を通算できるようになり経済的ゆとりがある人程減税効果が大きくなるなど貧富の格差を拡大させる。また、これを国保税にも影響させることは認められない」

賛成討論として「国民健康保険税は地方税法で定められた所得額を基に算出されることから、この条例改正は地方税法の改正に準じた改正が必要である」

平成29年1月1日から施行
11対1で可決

後期高齢者医療に関する条例

国税及び地方税の延滞金の見直しに合わせ、後期高齢者医療保険料に係る延滞金の割合を、納期限後一か月以内の割合は3%に、納期限後一か月を過ぎた後の割合を9.3%に引き下げる。

平成26年1月1日から施行
全員賛成で可決

町政を問う 一般質問

9月19日の本会議では4名の議員が4件の問題を行政側に質問した。
記事は本人の原稿に基づくもの。

葛川の水害対策が待たれる
鍛冶屋橋付近の河川防護壁
(県平塚土木事務所施工)



近藤 行宏議員

問 食育の推進体制は、どうなっているのか。

今後どのような取り組みを行っていくのか。

健康福祉部長 「二宮町健康づくり計画」を策定しており、今後は各分野に渡り食育関連を網羅した計画を策定する。

問 小児生活習慣病に関する指導等の内容は。疾病割合の把握および対策はどうか、親子で取り組む方策を考えているのか。

教育次長 3年生に規則正しい生活を送ること、6年生に病気の予防、中学生に具体的な学習をしている。学校での検診では疾病割合の把握までには至らない。1年生の保護者に対し給食試食会を通して食事の重要性を伝えている。

問 ①学校給食の取り組みの中で栄養教諭に期待される役割への取り組み

問

子育て支援における食育、小児生活習慣病、給食について

答

食事の大切さ、摂り方、感謝の気持ちを育てる

の現状は。②各校への配置に対する考えは。③食物アレルギー対応について、エビペン使用への研修などの取り組み。④学校給食の目標について。⑤アレルギーを有する児童・生徒の情報共有に対する見解を問う。

教育次長 小・中学校の校務分掌に食育を位置づけ、栄養教諭と学級担任が協力して、食に関する学習を行う。拠点校として、1校には配置したい。エビペン使用については県主催の研修に積極的に参加、技術の習得に努める。

教育長 二宮町では食事の大切さ、摂り方、食事に対する感謝の気持ちを指導している。各校で、情報共有を進めている。

様々な業種の人々がかわって給食へ！食卓へ！



※エビペンとは自己注射液アナフィラキシーショックを和らげる働きがある



一般質問

問 町の防災対策は地震被害が中心となっているが、大雨被害の際、避難

問 町の防災対策は地震被害が中心となっているが、大雨被害の際、避難

問 町の防災対策は地震被害が中心となっているが、大雨被害の際、避難

問 町の防災対策は地震被害が中心となっているが、大雨被害の際、避難

問 町の防災対策は地震被害が中心となっているが、大雨被害の際、避難



三橋 智子議員

問

豪雨災害の危機管理と、災害情報の住民伝達は万全か

答

地区ごとに水害対策の、意識強化を進めたい

対応に支障は出ないか。

町民生活部長

風水害の

避難体制は震災時と変わる場合もある。地区ごと

に水害対策の意識強化を図り、状況判断ができる

よう説明をしていく。

問 一時避難所の水害に

対する安全性の確認も必要だ。4月6日に受けた

大雨被害の整備を進めたが、今後の課題は何か。

都市経済部長

河川の整

備では時間雨量に対する安全性を県に提言をして

いく。町道の冠水箇所は、側溝への土砂の流出防止

を図るが、今後は抜本的な対策が必要だと考えて

いる。



神保 順子議員

問

町図書館は町民の財産。図書館改革は見直しせよ

答

サービス低下にならぬよう改革を進めていく

ル市の廃止。正規職員を4人から2人に削減など。

問 地域巡回文庫は施設

のお年寄りたちが、またリサイクル市は町民の多

くが望んでいるサービスである。これらの廃止は

図書館予算縮小による正規職員（司書）の削減か

らくるもの。廃止の見直しをすべき。司書は町の

心を頑張ってもらう。

教育長

今後は正規職員に代わって臨時職員を中

心に頑張ってもらう。

心を頑張ってもらう。

心を頑張ってもらう。

心を頑張ってもらう。

心を頑張ってもらう。

心を頑張ってもらう。

心を頑張ってもらう。

心を頑張ってもらう。

心を頑張ってもらう。

心を頑張ってもらう。

心を頑張ってもらう。

心を頑張ってもらう。

心を頑張ってもらう。

心を頑張ってもらう。

心を頑張ってもらう。

心を頑張ってもらう。

心を頑張ってもらう。



町図書館は町民生活や学校教育を支える大切な施設



小笠原陶子議員

問 二宮町は人口が減り、空き家が増えた。空き家に関する苦情相談が寄せられている。空き家の荒廃、立ち木や雑草の繁茂による防犯や火災予防上の不安、害虫の発生、野良猫のすみかとなるなど、環境が悪化している。二宮町空き家等の適正管理に関する条例を制定すべきだがどうか。

政策部長 町の平成24年度都市計画基礎調査によると232軒の空き家が確認をされている。

現時点で条例制定する予定はないが、小さな町、顔の見える強みを生かし、地域の方々と情報を共有し、相談に対して、関係各課が連携をしながら対応している。なお、報道によれば、管理不十分な空き家の増加を受け、自民党では対策法案を議員立法で、秋の臨時

問 空き家の適正管理条例制定と空き家バンク制度導入を！

答 条例制定の予定なし
不動産業者と意見交換

国会に提出しようという動きがある。市町村に立入調査権を与え、所有者への改善命令を可能とすることが柱となっているのでそれにより対応を考える。

問 空き家対策をワンストップサービスで対応できないか。

町民生活部長 我が町の苦情・相談の総合窓口は町民課である。

問 他町では空き家バンクを実施し定住促進に成果を上げているが、町では取り組む予定があるか。

政策部長 空き家バンクをつくる予定はないが、今後、新たに町と不動産業者と情報交換し施策に反映する。



石垣が崩れた空き家は
台風時には心配の種

提出者は神奈川県建設組合連合会と湘央建設組合。

陳情内容は、公共工事における品質を確保するには、建設労働者の賃金・労働条件の改善は不可欠の問題であり、公共工事における建設労働者の適正な賃金を確保するために、神奈川県に対し公契約条例を制定するよう意見書の提出を求めるもの。

総務建設経済常任委員会での審査の結果は5対1で趣旨採択となった。

本会議では、陳情採択に賛成の討論として、「県が制定を決める後押しをするためにも町議会が意見書をあげて意思表示をすべき」「公契約条例を

陳情 はどうなった？

神奈川県に対し公契約条例を制定するよう意見書の提出を求める陳情

8対4で趣旨採択

制定することにより様々な下請け会社やその労働者の環境整備、事業の質の向上などを図ることが可能。県の条例制定を加速させるために市町村議会からの意見書提出は大きな意味を持つ。

趣旨採択の討論として、「県は公契約に関する協議会を設置、対策を検討中。現在中小下請け業者に配慮し、契約額に下限を設ける入札の仕組みを採用、契約時には最低賃金法を含む労働関係法規の遵守も求めていることから県の検討を注視する段階と判断し、意見書提出には至らない」との意見があった。

人権擁護委員の推薦

人権擁護委員2名の任期満了に伴い、添田廣一氏が再任、高橋克美氏が新任された。

添田廣一氏は、同委員2期目・山西在住・63歳。高橋克美氏は、中里在住で64歳。

共に任期は3年で、本会議にて全員賛成で可決。

人権擁護委員とは…

法務大臣から委嘱を受け、地域の中で人権相談を受けたり、人権の考えを広める活動をするボランティアです。

町が推薦するにあたっては、人権擁護委員法に基づき、議会の意見を求めることになっています。



総務建設経済常任委員会の活動報告

閉会中の継続調査2課題について調査検討した。

②駅前禁煙条例制定に向け、静岡市視察

先進市である静岡市を視察し、条例制定の経緯や運用について調査したことを踏まえ、二宮町の

①梅沢海岸・背後地整備の政策提言書を提出

今まで調査検討してきた結果をまとめ、町に提出する政策提言書案を作成した。その内容は9月11日の議会全員協議会で了承され、第3回定例会で町長に提出された。(政策提言書は二宮町議会会議録122号に掲載)



二宮駅北口広場にも喫煙所が欲しいが…

←分かりやすい表示
(静岡駅前)



ト調査を行い、現在集計中である。

閉会中の調査課題に「公共施設の更新」を追加

町の公共施設が更新時期を迎え、財源問題が議論されていることから

「公共施設の更新について」を新たに調査検討課題とし、平成25年第3回定例会において、3課題が総務建設経済常任委員会の継続調査として可決された。

教育福祉常任委員会の活動報告

勉強会を7月9日、19日、8月27日、9月6日の合計4回開催した。

勉強会では、議会報告会のアンケート等を参考に、防災倉庫、社会教育関係、学童保育などについて意見交換を行った。

また「学校給食は質量共に不十分である。健康な児童を育てるため内容の充実を望む」との声を受けて、学校給食について調査することに決めた。

学校給食を調査

今後の閉会中の継続調査として、まずは10月7日給食センターにて委員外の議員も含め給食を試食し、中学生の分量やカロリーを実感してきた。今後、既に教育委員会に

提出している給食についての調査依頼書の回答と、給食試食、給食センター長や管理栄養士から聞いた話を元に常任委員会としての考えをまとめていく予定である。



給食センターでの試食

アレルギー対応の食材。献立のカレーライスは味・量とも満足。他の献立で子ども達の反応は？

議会トピックス

審議中、しばし沈黙…

決算審査特別委員会審査二日目、消防本部・署の審査にて、委員の質問。

9月議会できりわけ議論が集中したのがオリブ推進事業だった。

オリブ事業は議員の片思い？

ないと、取り返しがつかなくなる。執行者側だけの問題とするのではなく、教訓としたい。

「決算説明資料消耗品一覧表決算額と決算書決算額に、どうして差異が生じるのか」「22年度の消防学校入校負担金が24年度は消防学校等入校負担金となっている。等とした意味と金額の違いは何か」この2件の回答がなかなか出てこなくて、しばし沈黙…。

翌日、審査時間前に、財政部局と調整の上、書面での説明となった。日頃の現場活動に汗を流し、加えてデスクワークの仕事も、こなさなければならぬ。きつい部署と理解はするが、細心の注意をと、願うばかり。私たち議員も不備を問うばかりではなく、自身の発言・行動には絶えず緊張感、自覚を持つていたい。

「オリブの普及は、まず全町民に浸透させることが必要。工程表や、収穫後のマーケティングも今から考えていくべきでは」と弁舌も激しくなる。オリブ事業は当初は町長が熱く語っていたが、今は逆転してしまっただか。議会のラブコールにどう答えてもらえるか、今後の展開を楽しみにしたい。



三舟の書の価値をお話しされる石川^{さかえ}旺 教授

もっと知りたい 蘇峰堂^{そほうどう}の魅力

最終回

蘇峰記念館の魅力を
知っていたいたくための特
集最終回は大磯町在住
の、石川旺教授（199
2年より上智大学文学部

新聞学科教授。現在同大
学名誉教授・作家石川達
三のご子息）に、徳富蘇
峰の魅力を語っていただ
きました。

石川教授によると、記
念館の様々な展示品の中
でも、特に「幕末の三舟
の三軸」はよく集めた貴
重な史料とのことでした。
三舟とは、ペリー来航後、
幕府側にあつて活躍した
勝海舟（麟太郎）、山岡
鉄舟（鉄太郎）、そして
高橋泥舟（謙三郎）を言
います。この三人が戊辰

戦争の際に協力して、江
戸を戦火から救い、内戦
を回避して、外国の介入
を防ぎ、日本の独立を
守ったというものです。

海舟は戊辰戦争の早期
停戦と江戸城無血開城を
主張し実現。明治維新後
は、参議、海軍卿、枢密
顧問官を歴任し、伯爵に
叙せられ、高名です。鉄
舟も江戸開城の下打ち合
わせ交渉で西郷隆盛と談
判、また維新後は明治天
皇の侍従になり、名前が
知られています。しかし、
泥舟はそれほど知られて
いません。泥舟は槍の名
人で徳川慶喜の守護とし
て幕府に仕えていたた
め、明治天皇には仕えな
いと、隠逸に身を処し、
字が上手く絵も上手いた
め書画の鑑定などで身を
立てました。その潔い生
き方にあこがれて、泥舟

掛軸に書いてある文字

『幕末の三舟』

青山烟霞静海波 鉄舟高歩書
雨晴江水碧烟佳遠山晴 海舟 勝海舟
嵩山不揺石映日自傾茶 泥舟居士書 高橋泥舟

を支持する方も多く、作
家・子母澤寛の「逃げ水」
にそのことが記されてい
ます。
そんな幕末の偉人の書
にふれてみませんか。秋
の散策を楽しみながらお
出かけください。
参考文献Ⅱ幕末の三舟・
松本健一著（小笠原記）



高橋 泥舟



勝 海舟



山岡 鉄舟

議会報告会&意見交換会
のチラシを二宮駅で配布
10月8日（火）



南口の楠木^{くすのぎ}
今年度中に植え替え決定
ガラスのうさぎを見守る
役目を世代交代



カメラ
ポ

編集室だより

今年は例年より梅雨明
けが早く、記録的な猛暑
日が続く暑い夏でした。
10月になってようやく秋
風を感じるようになり、
ほっと一息ついて、ス
ポーツや芸術を楽しんで
いる方も多いようです。

9月議会は24年度決算
を審議し町財政を多方面
から検証しました。苦し
い財政状況が浮かび上が
る中、10月1日に安倍総
理は消費税8%の増税を
決断しました。今後私た
ちの町や暮らしに、どう
影響してくるのか、市民
の皆様とともに注視して
いきます。（三橋）

議会だより編集委員会
委員長 根岸ゆき子
副委員長 脇 正文
委員 杉崎 俊雄
委員 桑原 英俊
委員 近藤 行宏
委員 三橋 智子

定例会の一般質問は湘南ケーブルTV
による放映をしております。（次回の放映
予定は広報お知らせ版12月号掲載）皆様
のご意見・感想をお寄せ下さい。